

団体名 東久留米市市民環境会議・環境学習部会

【活動エリア】 東久留米市内
 【活動日】 定例会議は毎月第 2 火曜日午後、その他適宜
 【代表名】 駒田智久(第 8 期部会長)、090-3048-4719
 【問い合わせ先】 環境政策課；kankyoseisaku@city.higashikurume.lg.jp、042-470-7753

－水と緑と暮らしと地球 共に学んでこころ豊かな街に－

○活動の目的と内容

- ・市民環境会議は市民と行政が連携・協働して地域の環境の向上に向けて取り組む場です。
 - ・環境基本計画に示される 3 つの基本方針に合わせて、3 つの部会が設置されていますが、環境学習部会はその一つで、「基本方針 3；みんなで取り組む環境のまち」に対応しています。
 - ・具体の活動内容は下記の 2 つの個別目標に対応したものです。
 - 個別目標 7；環境について学び、活動につなげる
 - 個別目標 8；より良い環境を目指してみんなで取り組む
- 具体には、環境情報の共有の推進／環境学習の充実／市民と市の連携協働の推進 の 3 つを対象としています。



東久留米市市民環境会議

○環境情報の共有の推進

- ・私たちが取得する地域の環境情報の殆どは市・行政からの発信によりますが、現状で十分ではないと考えています。その充実に向けて色んな検討をしています。今期のアウトプットとして環境基本計画の概要版を市民目線で作成するとどうなるかを考えています(子供向け版も想定しています)。
- ・私たち市民環境会議の広報活動は、これまで限られたジャンルや限られた媒体でした。大きく活発化する必要を感じており、旧く開設していたブログの再開やくるくるチャンネルでの発信の充実を図りつつあります。

○環境学習の充実

- ・部会として自ら、農作業の体験学習の「みのり塾」などを実施してきています。
- ・市内における環境学習の実態把握の更なる把握も進めつつあります。

○市民と市の連携協働の推進

市の基本構想を実現するための基本理念は「みんなが主役のまちづくり」です。みんなが主役になるためには市民が市・行政と協働してまちづくりを進めることが必要です。そのために「協働の指針」が作成されています。市民と行政がこの指針を活かしていく必要があり、その方策を考えています。



環境トピックス

環境フェスティバルでの環境に対する意識調査
 環境フェスティバルでは来場者に日ごろ気になる環境問題について 20 幾つかの選択肢から 5 つを選んでもらっています。表は 2018 年度のアンケート調査の結果を整理したものです。上位には暮らしに直結した項目が並んでいます。湧水・清流保全都市宣言のまちだけあって、自然環境への意識も高いようです。＊○□は関係の深さの表示です。

おさそい

次の第 9 期の委員は 2023 年(令和 5 年)の 6 月頃に募集される予定です。応募して市民環境会議・環境学習部会に参加されるのは如何ですか？

日ごろ気になる環境問題					
順位	項目	数	水と緑と生きもの	くらし・生活	地球
1	川のゴミ・水質汚濁	415	○	□	
2	適切なごみの処理	391		○	
3	リサイクル状況	329		○	□
4	環境マナー 犬・猫の分	325		○	
5	農地が消え・宅地の増加	307	○	○	□
6	地球温暖化による気候変動	269		○	○
7	湧水の減少と川の水枯れ	264	○		□
8	食材のロス	234		○	□
9	樹木の減少	220	○		□
9	魚や野鳥の減少	220	○		